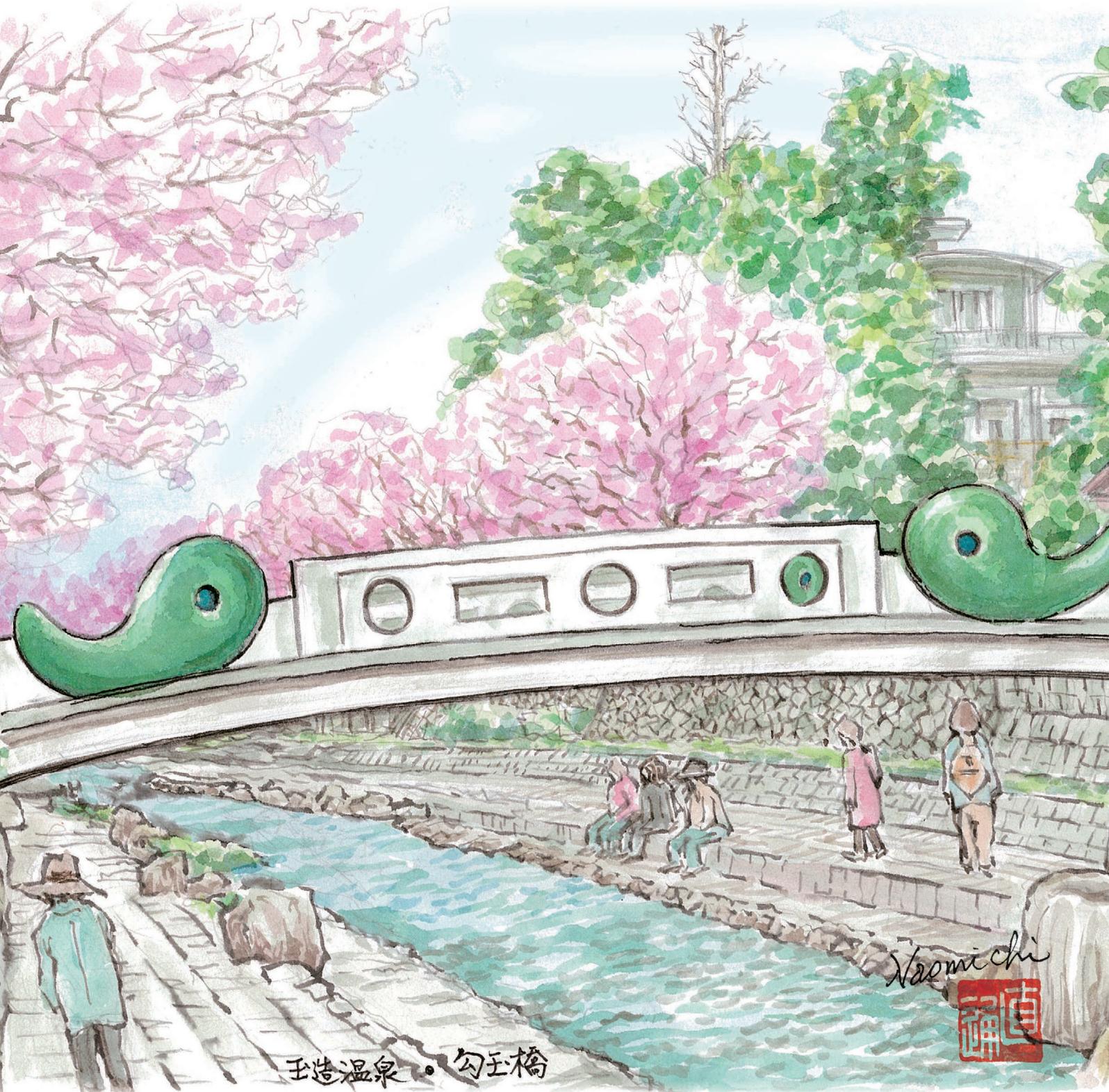




2019
4
April Vol.37

JAしまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「松江市 ハマボウフウ」 くにびき地区本部



玉造温泉・勾玉橋

島根には誇れる農産品がたくさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

松江市 ハマボウフウ

4月は、くにびき地区本部。松江市八束町で、ハマボウフウ（浜防風）の生産に取り組む「八束町はまぼうふう生産組合」の安部敏樹組合長ら組合員の皆さんにお話を伺ってきました。



組合の皆さんで切磋琢磨しながら、ここまでたどり着いたとのこと。とても仲の良い皆さんでした。

大根島（八束町）で農産物といえば朝鮮人参と牡丹が有名だと思えますが約40年前、新たな特産品を作ろうということになりました。朝鮮人参など薬草や漢方に使われるも

**ハマボウフウを生産する
きっかけを教えてください。**



お話をお伺いした組合の皆さん

の栽培していたこともあり、当初は組合員で手分けし黄蓮（おうれん）、アマチャヅル、ハマボウフウの3つの漢方の原料となるものを試験栽培しました。その結果、生産に適したものがハマボウフウでした。ハマボウフウは根っこの部分が漢方として使われ栽培をはじめた当初は高価格で取引していましたが、徐々に中国からの輸入品が増え価格が低下。需要も少なくなつたことから生産をやめる地方もありました。江戸時代からハマボウフウは「八百屋ボウフウ」という名前で八百屋の店頭で高級食材として並んでいました。これをヒントに根っこの部分を販売するのではなく、芽を摘んで料亭や割烹等へ食材として売り込んでみようということになり、芽の部分の生産に切り替えて今日まで続いています。



以前はこの根っこの部分を中心に栽培/出荷。

ハマボウフウの根はゴボウのような長い根・根茎を地中に伸ばします。まず砂地の畑に種をまいて1〜2年かけて根を成長させます。ある程度根が育ったら根ごと掘り起こしてハウスの中に定植。一定の深さを設けた砂地の箱の中に定植すると約1週間で芽が出はじめます。その芽が5〜7cmになったものを手で摘んで収穫します。規格は使う用途に合わせて3つあり、芽の大きさや茎の太さによって選別しパック詰めします。

どのように栽培するのですか？



大根島の砂地の畑が、ハマボウフウの栽培には非常に適している。





多い時で1日2,000本くらい収穫し25本を1パックとして週に2回出荷。米子市や松江市、出雲市の青果市場をはじめ大阪や広島、岡山県などに出荷しています。

苦労することや、こだわっていることなどありますか？

ハウスの中で芽が出はじけると2、3日で倍くらい大きくなるので、基本的に毎日芽を摘まなければなりません。露地だと収穫できるのは春の少しの間だけです。ハウスを利用して通年で出荷できる体

制を整え、夏には地下水を鉄パイプに通して地中を冷やし、冬は保温シートをかけ温度調整しています。また病気や虫がつかないようにするための登録農薬がほとんどないため、試行錯誤を重ねて有機の限られたものを使用しています。生産をはじめた当初は葉の色が悪く、青っぽい色しか出ませんでした。温度や電照、肥培管理などたくさんのご意見を試し、ようやく葉が綺麗な新緑色で茎は赤い、理想的な品質で栽培できるようになりました。



様々な工夫を繰り返し、良質で安定した生産に。その工夫を惜しみなく皆で共有するというのが、組合のスタイル。

ハマボウフウはどのような味で食べるのが美味しいですか？

ハマボウフウの味はシャキシャキとした食感でほんのりとした苦味があり、風味深い香りが出た中に広がります。小さくて若い芽は刺身のツマやお吸い物のお口取りなどに、大きくて大きいものはさつと霜ふりして白和えやゴマ和え、天ぷらなどにして食べると美味しいです。味と香りが扱い



ハマボウフウのさっぱりとした爽快感が楽しめ、クセになるような美味しいラーメンでした。



加工品も手がけ、様々な形でハマボウフウを食してもらおう工夫も

やすい食材なのでピクルスにするもよし、炊き込みご飯に加えるなど和・洋・中問わず、幅広い料理にアレンジできます。実際、八束町のラーメン店ではハマボウフウをふんだんにトッピングした「防風ラーメン」があり、珍しいラーメンとして地元をはじめ噂を聞きつけた食通の方が足を運んでいます。また5月から6月にかけて白い花が一斉に付きます。その若い蕾と柔らかい茎・葉を天ぷらにして食べると非常に美味しいです。花芽は他の産地にはないこの地域限定の珍しい食材で、時期に

なるとJAの産直市や道の駅本庄、玉湯町の八百万マーケットなどで限定販売しています。是非一度、食べていただきたい一品です。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

ハマボウフウは地元の市場に出荷しているものの、商店やスーパーマーケットには流通していません。大根島が産地であることを周辺地域の方々にまだまだ知られていないと思います。まずは地元の方に八束町がハマボウフウの生産地であることを知っていただき、将来的には気軽に地元で食べることができ、身近な存在になればと思います。

ハマボウフウ 一口メモ

ハマボウフウは、おもに全国の海岸に面した砂地に自生する多年草。かつては日本全国のどこにでも普通に見られたが、砂地の減少や食用・薬用として乱獲されたことにより、自生している場所が極めて少なくなっている。香り高い高級食材として旅館や料亭などで刺身のツマをはじめ旬の山菜として重宝されている。市場に流通しているものはほとんどが栽培もので生産地はわずか。埼玉や茨城、愛知県などで生産しており、中国地方では八束町がまとまった数を出荷している。同組合ではハマボウフウをもっと広く知ってもらおうとPR活動を継続的に実施。農林水産祭などのイベントにハマボウフウの天ぷらなどを出店、人気を博し、その味を求めて行列が並んでいる。



お話を伺った安部組合長。美味しいものを提供するため、努力と工夫をすることが楽しいと、その醍醐味をお話いただきました。

くにびき地区本部 JAグリーンかわつ



産直へようこそ!!

島根県内の産直店舗を「紹介」します。

可成り産直が地域の特産品「JAグリーン」



早朝に収穫された野菜は7時前から持ち込まれる

くにびき地区本部が運営する「JAグリーンかわつ」は、松江市街中心地より北東へ約4kmの郊外に立地し、周辺の住宅地に暮らす人々の食を支える存在として地元で愛されている。

近隣や、遠くは美保関から毎朝届く新鮮な農産物を求め、客足は絶えない。季節の旬の農産物はもちろん、津田カブ・秋鹿ゴボウといった地域の伝統野菜や、美保関から届く生ワカメなどバリエーション豊かな食材が並ぶ。この日も7時前から、早朝に収穫したばかりの野菜などが持ち込まれた。生産者の方々は「自分たちが育てた野菜がお客さんに喜んでもらえたらうれしい」と早朝にもかかわらずにこやかにその日の陳列作業を終える。

店頭では月に2回程度「試食イベント」を開催し、旬の食材を紹介するほか、定番野菜の新しい料理方法の提案などを行っている。地元の醤油店とコラボしたイベントも人気だ。清水雅樹店長は「生産者のため、ひとつでも多くの農産物を手に取ってもらえるようPRを工夫したい」と話す。

これからのおすすめはタケノコ。生産者がある日の朝に掘ってきたタケノコは、市場を經由しないため「新鮮さが全然ちがう」と毎年人気だ。出荷が始まると旬の商品として大々的に陳列する。そのほか、春を感じさせるフキやワラビなども店頭に並ぶ。

JAグリーンかわつでは、産直野菜のほか農産物加工品、花卉、農業資材、店頭精米などを扱っている。



地元で生産される花卉も人気の商品 (写真はストック)



地元の養鶏場から烏骨鶏など珍しい種類の卵も陳列される



「スーパーに無いものが手に入るのが産直の魅力」と話す清水店長

住所：島根県松江市西川津町659-1
 営業時間：4～9月 8:30～18:30
 10～3月 8:30～18:00
 定休日：第1水曜日（4・5・7・10月は休まず営業）
 年始・3月31日・6月30日・9月30日
 TEL：0852-21-2373



JA
自己改革
実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

高松和範さんは、松江市東出雲町の中海干拓地で「くにびきキャベツ」を中心に約4haの規模で農業経営を行っています。

高松さんは、農家出身ではありませんが、JAと松江市が新規就農者の育成を目的に行っている「だんだん営農塾」に参加したことを契機に、地元の農業士のもとで2年間、現場経験を積み、平成27年3月に独立し新規就農されました。

平成30年度JAしまね農業振興支援事業によって導入した「乗用管理機」を有効に活用し、作業の効率化や省力化を図り、経営規模の拡大を目指した農業経営を展開されています。

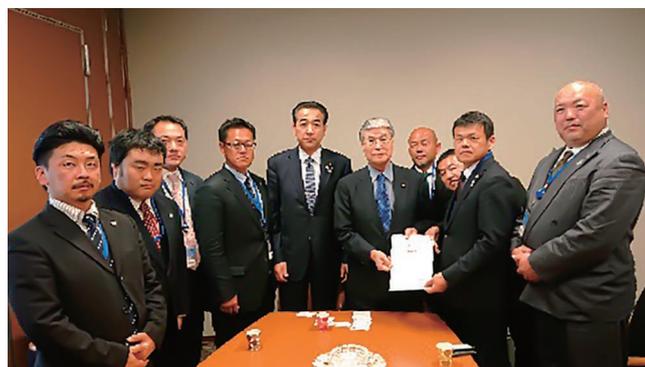
高松さんからは「新規就農時の機械設備等の導入にあたって、本事業を活用できたことは経営の安定化を図るうえで非常にありがたかった」との声をいただきました。

今後は、若き農業のリーダーとして経営の法人化を目指し、地域農業の発展に貢献していきたいと熱い思いを語っていただきました。

松江市 高松 和範さん (33)



一所懸命 青年連盟



平成30年7月豪雨被害に対する要請

島根県農協青年組織協議会とは

島根県農協青年組織協議会（平成30年度 会長 小村 伸治）は、農業青年の協同意識を高め、農業をよりどころとした豊かな地域社会を築くことを目的に設立されたJA青年連盟の県組織です。県内11地区本部のうち、10地区本部にJA青年連盟があり、720名の盟友で構成されています。

主な活動としては、JA青年大会（県内盟友が一堂に会し、個人・組織の発表を通じて、組織の活性化・

自己啓発を図る大会）や視察研修会の開催、JAしまねや島根県との意見交換会を実施しております。また、国会議員への要請活動も行っており、平成31年2月には中四国9県の青年組織として平成30年7月豪雨被害に対する要請書を自民党の野村農林部会長へ提出しております。

今後は、毎月このコーナーにて各地区本部JA青年連盟の活動を紹介します。JA青年連盟の活動にご理解とご協力をお願いいたします。また、加入を希望される方は島根県農協青年組織協議会事務局（山崎）【TEL：0853-25-8142】までご連絡ください。

雲南

半世紀続く組合で若手ヘルパーが奮闘 奥出雲町酪農組合

島根県奥出雲地区の酪農家が集まり組織する奥出雲町酪農組合では、組合員の休日確保や労働時間の軽減、経営の継続などのため、奥出雲町にある高橋牧場で働く船津拓也さん（24）が唯一のヘルパーとして奮闘しています。

同組合は昭和35年に発足した横田町酪農振興会が前身で、昨年11月に60周年を迎えた歴史ある組合です。現在は8戸の酪農家が約160頭飼育しており、内4戸でヘルパー事業が利用されています。

船津さんは「通常業務とヘルパーの仕事と合わせると時間と体力的な面で、辞めたい時期もあったが、今はヘルパーに出るときにやりがいを感じる。自然豊かで人柄もいいこの地で、できるかぎり続けていきたい」と意気込みを話しました。



牧草を寄せる船津さん

くにびき

くにびき農業法人会定期総会を開催 ~総会後の研修では軽減税率を学ぶ~

くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は2月26日、なにわ一水で「第8回定期総会」を開催しました。

当日は、くにびき管内で組織する17法人の代表者など40名が出席。会の冒頭、岸本会長が「農業情勢は厳しいが、地域農業をより良いものにしていくために、使命感を持って日々活動していこう」と挨拶しました。

その後、農事組合法人林本郷の松浦久年代表理事を議長に選任し、今年度の活動報告や来年度の活動計画と収支計画など、上程された全議案が承認されました。

総会後には税理士資格を持つJA全中JA支援部営農担い手支援課の栗山賢陽職員が「消費税軽減税率導入における課題と影響」と題し、軽減税率をめぐる課題やインボイス制度の導入について解説。栗山職員は「税制は変わっていくもの。どのような対策を早くとるかが重要」と参加者へ呼びかけました。

参加者は「いち早く情報を取り入れ、柔軟な対応をしていきたい」と話しました。



軽減税率について解説する栗山職員

隠岐

公用車へドライブレコーダーを設置

隠岐地区本部は、JA共済連島根県本部が実施している「JA共済地域・農業活性化施策助成制度」を利用し、平成31年3月より当地区本部で使用している公用車全台にドライブレコーダーを設置しました。地域で無くならない犯罪への抑止や交通事故防止に寄与し、また、犯罪や事故が発生した際には警察署等への情報提供をすることにより、迅速な解決が図れることを期待し設置することとしました。

今後とも、職場内で交通安全への啓発を図り、JA職員自ら飲酒運転の撲滅、交通ルールの遵守をして参ります。また、毎年実施している教育機関への反射タスキの贈呈や行政へのカーブミラーの贈呈などを通じて、犯罪や交通事故等が無い、暮らしやすい地域になるよう貢献して参ります。



やすぎ

春の彼岸花市開催

やすぎ地区本部は3月16日から3日間、管内にあるグリーンセンター（農産物直売所）2店舗となかうみ菜館で「彼岸花市」を開催しました。「彼岸花市」は毎年開催している一大イベントで、管内の農家が栽培した色鮮やかな花を中心に新鮮な野菜や果物なども豊富に揃え、連日大勢の買い物客で賑わいました。

各店舗では、定番である菊やしぶぎをはじめ、ストックやカーネーションなど多くの種類の花木が店先に並び、花を購入された女性は「春の花がたくさんあって、季節を感じていいですね」と話されました。



斐川

大看板で お米の消費拡大PR

斐川地区本部青年連盟は3月8日、米消費拡大をテーマにした大看板(縦2.7メートル、横1.8メートル)を作成しました。昨年の夏に町内の小学生を対象に募集した「農業絵画・ポスターコンクール」に応募された21作品の中から、青年連盟賞を受賞した中部小学校(当時3年生)の松原帆香さんの作品を基に、ベニヤ板3枚を繋ぎ合わせて下書きをし、ペンキで色をつけ忠実に再現しました。今回で17作品目となる大看板は、JAしまね斐川グリーンセンター駐車場入口に設置され、来店する消費者へ訴えかけています。青年連盟の古川敬委員長は「1年間外に設置するので、雨風に倒れないよう補強もしっかり行った。看板を見てもらうことで、一人でも多くの方が斐川町産の米の消費拡大に関心を持ってもらえる」と期待を込めました。



隠岐
どうぜん

産直部会が視察研修

3月13日から15日にかけて「隠岐どうぜん地区本部産直部会先進地視察研修」を行いました。出雲地区本部では、本店販売戦略室の須山室長からラピタ本店農産物直売所の取組み、売れ筋商品、コンパニオンプランツ、商品の包装の仕方などを学んだ後、ラピタ本店農産物直売所を視察し、実際に商品を観て触れて、規格・鮮度・包装等を確認しました。雲南地区本部では高橋指導員から、春まき野菜の栽培講習会で種まきから収穫までの各ポイントの指導を受けました。やすぎ地区本部の「なかうみ菜彩館」では稲田店長、山根課長から直売所の今までの取組みや今後の課題を学び、直売所で新鮮な野菜、果物などを実際に購入しました。当産直部会も、新鮮で安全な野菜を提供できるよう、栽培履歴書の記入、適正な農薬・肥料の使用を守り、より多くの商品を組合員・地域住民の皆様へ提供できるよう頑張ります。



石見銀山

JA女子大学、 「菜根館」卒業式

石見銀山地区本部が開講するJA女子大学シニア講座「菜根館」は、3月6日と8日に地区本部で「卒業式」を開きました。

卒業式では、卒業証書が手渡され、全講座に出席した受講者には皆勤賞が贈られました。

山崎辰次本部長は「今後も地域のリーダーとして活躍頂くとともに、JAの事業に対し協力をお願いしたい」と話しました。

卒業式終了後、JAしまね石見銀山女性部農産加工所旬彩工房「きれんげ」から2名の講師を迎え、大田市の伝統料理「箱寿司」と「うどん豆腐」の作り方を学びました。



菜根館卒業式での集合写真

出雲

「准組合員の集い」管内8会場で開催 四絡支店はジャンボ巻き寿司で交流

JAしまね四絡支店は3月17日、四絡コミュニティセンターで准組合員を対象とした交流会「准組合員の集い」を開きました。親子での参加も含め、約30人が参加。JAの事業や地域貢献への取り組みを紹介するDVDを上映したほか、交流イベントとしてフィットネスフラダンス教室とジャンボ巻き寿司作りを行いました。

JAを取り巻く環境、JA自己改革への取り組みについて話した出雲地区本部の福島隆理事は「環境が変化する中、JAもチャレンジ、改革をしていかなければならない。ご理解、ご協力をお願いします」と呼びかけました。

「准組合員の集い」は、JAが「地域農業の応援団」と位置付ける准組合員の皆さまへの情報発信と意見交換を目的に昨年からは開催しています。今年は3月10～28日にかけて管内8会場で開きました。



完成したジャンボ巻き寿司を掲げる参加者ら

西いわみ

JAしまね西いわみ女性部が春のおやつサービスを実施しました

JAしまね西いわみ女性部（部長和田悦子）は3月6日から20日までの間、益田市、津和野町、吉賀町の福祉施設へおやつを届けるサービスを行いました。このサービスは地域貢献活動の一環として毎年春と秋に実施しており、今年が23回目です。

春を感じさせるおやつとして選んだ「さくらもち」を、地域ごとの調理場で手作りし、同サービスを希望する管内の福祉施設37箇所に合計1,600個を届けました。

おやつを受け取った施設関係者の一人は「利用者の皆さんも楽しみにしていたおやつを届けていただけてうれしい」と喜びました。

JAしまね西いわみ女性部では、今後もこのサービスを続けていく予定です。



島根 おおち

矢上高校へ繁殖和牛贈呈

島根おおち地区本部は、邑南町、島根県西部農林振興センター、島根県立矢上高等学校の4者により、地域を担う畜産人の育成と地域振興を目的に、「石見和牛プロジェクト」を創設し、その一環として矢上高校へ繁殖和牛を贈呈しました。3月18日には邑南町役場で4者による調印式が行われ、続いて矢上高校第2農場にて繁殖和牛の贈呈式を行いました。贈呈式では、日高本部長より10月に分娩予定の黒毛和牛の雌牛「みつひら号」（4才）が古居校長へ贈られ、古居校長が「島根県を代表する血統の繁殖和牛を寄贈いただいたことにより、一段と実習に力が入ります。より高い知識と技術の習得を目指し、地域の畜産振興に少しでも役立ちたい」と感謝の意を述べられたほか、生徒を代表して産業技術科2年生の寺本進太郎さんが挨拶し、これからの実習に期待を込めました。日高本部長は「産業技術科を持つ矢上高校とJAの結びつきを深めるために何かないかと、今回の繁殖和牛の贈呈に至りました。多くの方が畜産関係担い手への道を進まれることを望みます」と地域の活性化および管内農業振興への願いを込めました。矢上高校は、2022年に鹿児島県で開催される全国共進会への出品を目指します。



本店

国宝松江城リレーマラソン JAブース盛況!

3月24日に松江城で開催された「第1回国宝松江城リレーマラソン」へJAブースを出店し、島根県産のイチゴ、はと麦茶、干し柿を販売しました。

初開催となった今大会には、県内外から1,000人を超えるランナーがエントリー。仲間うちや家族でチームを組み、松江城敷地内の特設コースをタスキをつなぎながら25周（総距離約42km）を走り抜けました。

スタートの前後はあいにくの雨模様でしたが、天気も回復し日差しが差し込むと、メイン会場に設置したJAブースには多くのランナーや応援の方々がお越しになりました。待機中のランナーへの差し入れとして、また大会終了後はお土産として島根県の特産品が大活躍(?)したようです。

大会の開催にあたり、上位賞をはじめ各賞への副賞として、JAしまねより「島根県産つや姫160kg」を提供しています。ブースと併せて島根県の特産品をPRすることができました。



いわみ 中央

職員が国民体育大会に出場しました

いわみ中央地区本部の伊藤職員が、国民体育大会冬季大会「イランカラプテくしろさっぽろ国体」に出場しました。1972年の札幌オリンピックの会場にもなった札幌市にあるテネスキュー場で行われ、伊藤職員はアルペンスキー、ジャイアントスラローム競技の成年男子A（19歳以上26歳以下）に出場し、予選を勝ち上がった全国の選手たちと競い合いました。急な斜面で雪面も固いアイスバーンという難しいコースでしたが、無事完走しました。伊藤職員は「とてもいい経験ができて、たくさんの応援・支援本当にありがとうございました。成績は昨年より少し良かったのですが、いい結果とは言えないので引き続き練習していきます。来年も本戦出場できるよう頑張ります！」と来年に向け意気込みを話しました。

恵まれた環境とは言えない中での健闘する伊藤職員を、地区本部はこれからも応援していきます。



タテのカギ

- ① プロではありません
- ③ アグネス・チャンのデビュー曲は『——の花』
- ⑦ 掘端などでゆらゆらと枝を揺らす木
- ⑧ ラッコやカワウソはこの仲間
- ⑨ 3月はマーチ、4月はエイプリル。5月は？
- ⑩ 歩き過ぎると棒になるかも
- ⑬ 定年——を迎え、第二の人生をスタートさせた
- ⑮ 土地を売買するときの値段
- ⑯ 液体から固体をこし取ること
- ⑰ 大さじの1/3の容量です
- ⑱ 晩ご飯のことです
- ㉑ 農協、取説、メアド、合コンなど
- ㉒ ——は金なり

ヨコのカギ

- ① カキツバタやハナショウブに似た花が咲きます
- ② 包丁の刃を受け止めます
- ④ 他人には教えないでね
- ⑤ 歯のある履物
- ⑥ うどんや牛丼に掛ける調味料
- ⑩ ボールを使った曲芸がうまい海獣
- ⑫ 漢字では無花果と書く果物
- ⑬ 素人ではありません
- ⑭ はたきで取り除く物
- ⑰ 大地真央や天海祐希は宝塚——団の元トップスター
- ⑲ これごと食べられる豆もあります

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	9		14	18	21
2			11		19	
			12	15		
3		10				
4	8				20	
5			13	16		22
6				17		

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2019年5月7日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「モクレン」

ツ	ク	シ	キ	シ	ユ
ヨ	シ	ソ	カ	ニ	
ヨ	ウ	下	サ	ン	コ
ツ	ソ	ボ	ク	ー	
パ	レ	ッ	ト	マ	ン
ラ	ン	ケ	ム	リ	
イ	ズ	ミ	ギ	モ	ン

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

けんこうさんぽ 健康散歩

五月病を予防しよう

JA島根厚生連

4月になり、新年度が始まりました。環境が変わって頑張ろうと思っている方も、ゴールデンウィークを過ぎてひと段落する頃から「なんとなくやる気がでない」「気分が落ち込む」など、「五月病」の症状が出る場合があります。新年度の環境の変化とそれに伴う仕事の忙しさ、そしてこれから迎える大型連休で、心も体もその変化についていけず、誰にでも五月病が発症する可能性があります。特に今年のゴールデンウィークは10連休ということで騒がれています。例年と違う5月を迎える前に、その予防方法をおさえておきましょう。

○ストレスを溜めないようにする。

新年度になると、環境や人間関係が変化します。そこで、人は無意識のうちに適応するための努力をしています。「無意識に」少しずつ体や心に負荷がかかっている可能性があるため、「おかしいな…」と感じれば早めにストレスを解消するようにしましょう。悩みを友人や家族に話す、趣味やスポーツに打ち込むなどの方法で気分転換をしながらストレスを解消していきましょう。



○ゴールデンウィークの過ごし方（休日の過ごし方）に気をつける。

休日になると、夜更かしをしたり、朝遅い時間まで寝てしまったりと、生活リズムが変わってしまう方も多いかと思えます。しかし、生活リズムの乱れは心身ともに様々な不調をきたします。もちろんリラックスして過ごすことは大切ですが、生活リズムは崩さないよう心がけてみましょう。

春は変化の多い時期です。しかし、忙しいことだけでなく、楽しいこともたくさんあります。心身ともに健康に過ごすために、今のうちから少しずつ意識して過ごしてみられるとよいかもしれません。



副賞に地元農産物を贈呈 まつえレディース ハーフマラソン



副賞を手渡す田中副本部長

「野菜の詰め合わせ」を手渡しました。表彰式で、田中鈴木副本部長からずしりと重い米を受け取った鈴木選手は「お米で力を蓄え、次の大会に臨みたい」と笑顔浮かべていました。

早春の城下町松江・宍道湖畔を舞台に3月17日、「第40回記念まつえレディースハーフマラソン」が開催され、ランナーたちが熱いレースを繰り広げました。入賞者には、くにびき地区本部から健闘を称え、副賞として管内産の米や野菜の詰め合わせを贈り、地元農産物をPRしました。

レース終盤まで競り合い、残り1キロを切ったところでスパートをかけ、見事優勝に輝いた鈴木優花選手（大東文化大学）をはじめ、I部（ハーフ）、II部（10キロ男女）など18部門の優勝者に、管内産コシヒカリを今摺りした米「かがやき舞」10キロを贈呈。2位の選手には「くにびきコシヒカリ」5キロ、3位の選手には「野菜の詰め合わせ」を手渡しました。



2位 加世田梨花選手(左) 1位 鈴木選手(中央) 3位 田川友貴選手(右)



一斉にスタートするランナーたち

地域貢献・地域活性化事業支援金を交付

JAしまねでは「平成30年度地域貢献・地域活性化支援事業」を実施し、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等を普及支援しています。

くにびき地区本部は3月5日に交付式を行い、下記の5団体を表彰しました。



挨拶をする栗原本部長



団体名 (構成者数)	代表者 (敬称略)	主な活動内容
城北地区に子どもの遊び場を作る会 (20名)	中田 光俊 (奥谷町)	耕作放棄地を活かした幼稚園向けサツマイモの収穫体験を開催し、食農教育に取り組んだ。また、寺社仏閣保有の森林を整備し、子どもの遊び場作りや景観の維持に繋げた。
フードバンクしまね「あったか元氣便」準備会 (20名)	竹谷 強 (西津田)	学校との連携体制を構築し、子どもの貧困問題に焦点をあて、孤立者のいない地域づくりと貧困状態の子どもへの支援に取り組んだ。
まつえ環境市民会議 グリーンのカーテン推進委員会 (34名)	瀬崎 輝幸 (学園南)	節電に役立ち、CO ₂ 削減の効果が期待できるグリーンカーテンを広く市民に普及させるため、市内小中学校や幼稚園、公民館等を通して、各地域へ18,000本のゴーヤ苗を配布した。
さだがわんクラブ (15名)	田中藤一郎 (鹿島町)	イベント等に、鹿島町のご当地キャラクター「さだがわん」として出演し、松江市及び鹿島町をアピールするとともに、市民の心に「夢」と「希望」を届け、元気にする活動に取り組んだ。
まつえ市民活動支援協議会 (62名)	三輪 利春 (白濁本町)	「市民活動フェスタ2018」を松江市民活動センターで実施。市民活動の発表、展示を通して、理解を深め、参加者の相互交流を図り、活動の充実につなげた。また、地域の活性化、持続可能な地域作りに取り組んだ。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んで

交通安全反射材贈呈 八束学園など管内中学校へ

J A 共済の交通安全活動で、通学時など夜間の交通事故防止に役立ててもらおうと、新学期を前に管内各中学校の新1年生に、自転車用夜光反射テープ1、818個と反射タスキ806個を贈りました。

3月19日には、川上悟司副本部長が松江市立義務教育学校八束学園を訪れ「反射材を活用し、自分の存在を示すことで、交通事故を防止してほしい」と新9年生（3年生）で学園生会会長の安部蒨さんと新7年生（1年生）代表の橘慶一朗さん、渡部大翔さんに反射テープ、反射タスキ42個の趣意書と目録を手渡しました。

安部さんは「帰宅時間が遅くなるときも、反射材のおかげで安全に帰ることができている。地域の方に見守っていただいていることにも感謝し、今後も安全に通学したい」と話しました。

岩田美登里学園長は「生徒達に反射材を着けるきっかけを作っていただき、ありがたい」と謝辞を述べました。



川上副本部長（左）から趣意書を受け取る安部さん（右）

おいしいシイタケを作ろう！ 児童が菌打ち体験

宍道町椎茸生産者組合（狩野和由組合長）は3月5日、宍道町上来待にある椎茸乾燥場で来待小学校の3年生23名に、シイタケについての出前授業を行いました。

この出前授業は同組合で地区本部運営委員でもある永江久夫さんが、子どもたちに農業の魅力や食べる喜びを知ってもらおうと食育の一環として4年前から開始。当初は個人で行っていましたが、今では組合の活動として取り組んでいます。

当日は、同組合員やJ Aの営農指導員などが講師として参加し、シイタケの特色や栽培手順、植菌・収穫方法を解説しました。その後、植菌作業を体験。児童はかなづちを使い、前もって穴を開けておいた原木に、駒菌を慎重に打ち込み、ほだ場へ運びました。



植菌を体験する児童と永江さん（右から2人目）

TV番組でタケノコをPR！ 「遠くへ行きたい」に森口さん出演

読売テレビ・日本テレビ系列で放送されている「遠くへ行きたい」のテレビクルーが3月25日、上意東たけのこ生産組合の森口和宣組合長のもとを訪れ、ロケを行いました。撮影では、妻の順子さんも出演しました。

収穫方法について説明する森口さんご夫婦



「松江の海・山・川で春を探す！」がテーマで、春の山の恵みとして上意東のタケノコが選ばれました。

当日は、森口さんご夫婦がジャーナリズム事務所所属の長谷川純さんと竹やぶに入り、収穫作業を手ほどき。タケノコの収穫が初体験の長谷川さんは、順子さんからの叱咤激励を受け、悪戦苦闘しながら収穫していました。その後、青竹でタケノコご飯を炊くなど、森口さんの手作り料理も振る舞われ、旬の味覚を味わいました。

森口さんご夫妻は「上意東のタケノコは柔らかくて甘みがある。是非、味わって欲しい」とPRしました。

この模様は、4月27日（土）日本海テレビで朝5時30分から放送予定です。



青竹でご飯作りに挑戦！

営農指導員からシイタケについて学ぶ児童

永江さんは「食育は一過性で終わってはいけない。今後も継続して開催し、食の大切さを伝えたい」と話しました。

授業を受けた小谷一護さん（9）は「椎茸は、みそ汁などに入れてよく食べる。自分たちで栽培した椎茸を食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。

ほだ場へ運んだ原木は、同組合員や児童が管理し、2年後に収穫する予定です。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



くにびき地区本部公開セミナー 「ズバリ核心！～今年の政局～」を開催

くにびき地区本部は、3月9日、公開セミナーを営農総合センターで開催しました。有識者2名による講演があり、農業の現状や今後の政治について理解を深めようと、組合員やJA役員など約150名が参加しました。

同セミナーは、業績還元資金を活用しており、昨年に引き続き2度目の開催です。

当日は、日本農業新聞の田宮和史郎業務局長が「平成農業の総括と今後の農政展望～官邸農政から持続農政へ～」と題して情勢報告。「消費者の国産志向と国産不足により、農産物価格は回復傾向にある。今後は「物」を持つ産地が勝つため、生産基盤のテコ入れが最優先課題」と説明しました。続いて、永田町取材歴50年、日本農業新聞でコラムを好評連載中で、田中角栄研究の第一人者でもある政治評論家の小林吉弥氏が



情勢について報告する田宮業務局長



熱弁する小林さん

「ズバリ核心！今年の政局」と題して講演。小林氏は、「ポスト安倍に向け、初の女性首相誕生があるかもしれない」などユーモアを交えながら話しました。

共催した、松江市農政会議の上山根晴久会長は「世界平和と農業の更なる発展に向け、エネルギーシユな総理が出ることを願っている」と述べ、参加者は「普段は、聞くことができない政治の裏話が聞けてよかった。島根からも、農業のことを発信できる政治家が出てほしい」と感想を述べ、好評のうちに閉会しました。



当日の様子

地域ケア連携推進フォーラム開催

～みんなで安心して暮らせる地域づくりをめざして～



講演する中塚さん

JAしまねや松江市社会福祉協議会、松江保健生協生協しまねなどで構成する「あったか地域づくり協議会（高橋健代表）」は3月23日、くにびき地区本部の営農総合センターで「第9回地域ケア連携推進フォーラム」を開催。約150名が参加し、支援者・協力者の輪を広げました。

同協議会は、生活困窮者の問題や子どもの貧困についての学習をすすめる、「安心して暮らせる地域づくり」の実現に向けて、連携して助け合い活動を実施すること、昨年からの試行する「フードバンク事業」の報告を通じ、支援の輪を広げる機会にしようと企画しました。



当日の様子



9回 地域ケア連携推進フォーラム
主催 あったか地域づくり協議会

当日は、2018年4月に立ち上げた「フードバンクしまねあったか元気便」準備会の竹谷強代表（古志原公民館長）、寺本敏徳副代表や松江市立古志原小学校の富谷衡校長が活動について報告。竹谷代表は「今後は、中学校や各地域に活動の輪が広がっていくことを願っています」と話しました。

活動内容について報告する竹谷代表（右から2人目）

続いて、朝日新聞大阪本社生活文化部で子どもの貧困を専門に取材している中塚久美子さんが「子どもの貧困について今一度考えよう!!」と題し、講演しました。豊富な取材経験をもとに「貧困問題は目に見えにくい。そこに気付き、理解を示しアクションを起こすことが重要」と支援を呼びかけました。

参加者は「貧困問題について改めて考える機会になった」「今後も出来る限りの協力をしていきたい」と話しました。

特産のキャベツ・西条柿栽培学ぶ
7期生7名修了・だんだん営農塾

平成30年度だんだん営農塾閉講式



農業の基礎知識や技術を学びたい方を支援する「だんだん営農塾」が全課程を終え3月19日、中海干拓研修センターで閉講式を行いました。7名が出席し、修了証書を受け取り、今後の抱負などについて語りました。

同塾は松江地域農業再生協議会の担い手育成部会が、新たに就農を考えている人などを対象に募集。7期目となる今年度は、キャベツ、西条柿コースで実施。約10ヶ月間にわたり、各作物を栽培しながら農業の基礎を学習。農業機械の正しい方や肥料・農薬散布、収穫・調製作業などの実習を行いました。

式では、塾長の松江市政課土江紀明課長が「記録的な猛暑や豪雨のなかでの管理、作業は大変だったと思う。この経験を糧に、松江市の農業の担い手になってほしい」と激励しました。

キャベツコースと柿コースを受講した宇田川修さん（58）は「入塾してから、農作物を商品にすることの大変さに気づき、簡単に農作物を購入できる環境に感謝するようになった。塾での経験を今後の人生の糧にしたい」と話しました。

2019年産水稲種まき開始！
約9万9千箱を予定

くにびき地区本部は3月24日、中海干拓育苗センターで2019年産米の種まきを開始しました。5月下旬まで、「きぬむすめ」「コシヒカリ」「つや姫」「ハナエチゼン」など合計9万9千箱の育苗を行う予定です。

当日は、1,700箱の種まきを実施。機械で育苗箱に床土を入れ、注水、播種、覆土を行い、温度30度に保った育苗器に運搬しました。その後、3日ほど育苗器の中で経過させ、芽が1センチ程度まで伸びた苗をハウスに移し、植え付け目安となる十数センチまで成長させます。育った苗は、4月下旬頃から順次生産者に引渡す予定です。



工程を見守る作業員



作業の様子

米穀畜産課の山根敏行課長は「種まきも始まり、これから田植えの準備と作業が続く。計画的に作業を進め、良質米生産に努めていきたい」と話しました。

本年も当地区本部では、引き続き「きぬむすめ」「つや姫」の生産拡大に取り組み、生産者の所得増大に努めていきます。

お詫びと訂正

「しまねびより3月号」18ページの「ATM共同運営のお知らせ」の「※共同運営開始後の松江市立病院ATMご利用についての注意事項」の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤)
可能取引：入金・出金
↓
(正)
可能取引：出金



JALまね

床下の無料調査
(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

シロアリ警報! 5月は羽アリが多発!!

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願いたします。

お問い合わせ先

くにびき地区本部 生活燃料センター
松江市長江町902-43
☎0852-36-9270

取扱業者

(株)コダマサイエンス 松江営業所
松江西市塚島2-8-23
☎0852-26-6757



志田原 高



山根 直也



石川 由之



古川 秀信

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



くにびき地区本部情報

女子大卒業生会 ハーバリウム作りを体験！



作業説明をする影山さん

くにびきサンサン女子大卒業生会は3月2日、教育文化センター1San・san館で「ハーバリウム作り体験」を開催。15名が参加し、ドライフラワーや水引を使い、思い思いの作品を作りました。

ハーバリウムは、ドライフラワーなどをガラス瓶に入れ専用のオイルに浸し、好みに合わせてアレンジデザインできることから、近年女性を中心に人気を集めています。

冒頭、講師の影山和美さん（家の光地方講師）が「詰め込みすぎず、多少ゆとりがある方がきれいに仕上がる」と説明し、作業を開始しました。

参加者は、色味を考えながらドライフラワーや水引を選択。綺麗に仕上がるよう配置を考えながらガラス瓶に入れていき、オリジナルのハーバリウムを完成させました。また、ガラス瓶の肩には、綺麗に結んだ水引をかけ、彩りを添えました。

参加者は「思い通りにレイアウトでき、満足できた」「かわいらしい作品ができた。飾ったら部屋が明るくなりそう」と満足そうに話しました。



完成したハーバリウム

サンサン女子大 「美しいペン字」開講 ～美文字を目指して～



集中して練習する学生

くにびきサンサン女子大は3月20日、教育文化センター1San・san館で「美しいペン字」講座を行い、38名が筆ペンやボールペンで美しい文字を書くポイントについて学びました。

美しい文字の書き方を学び、日常生活や仕事などにも活用してもらおうと初めて企画したものです。

当日は、独立書人団審査会員の松本千秋さんを講師に招き、ペンの持ち方や正しい姿勢、筆の運び方など、美しく文字を書くためのポイントについて解説を受けました。その後、学生は縦線、

横線の書き方から始め、自身の名前や慶弔袋に使用する文字など手本を見ながら練習し、添削とアドバイスを受けました。

学生は「基本となるところが押さえて書くと字が上手くまとまった。何度も書くことが大切だと実感した」「字を書くことが少なくなってきたので、良い機会となった」と笑顔で話しました。



学生に指導する松本さん

悪質商法を撃退！ トラブル防止へ対策学ぶ



真剣に聴講する参加者

くにびき女性部（中島和子部長）は3月6日、営農総合センターで「消費者トラブル未然防止研修会」を開催し、部員45名が参加しました。



ロールプレイングを交え、事例を紹介する勝部相談員と参加者

同研修会は、昨今複雑多様化している悪質商法の手口や対策を学ぶことで、トラブルを未然に防止しようとする毎年企画しています。

当日は、島根県消費者センターの勝部明美相談員を講師に招き「身近な消費者トラブルの事例とその対策について」と題し、研修会を実施。はがきやメールでの架空請求や電話による詐欺の手口について、ロールプレイングを交えながら事例を挙げ、防止策について解説しました。

勝部相談員は「年々、手口が巧妙化している。悩んだら一人で決めず、身内や私たちに相談してほしい」と呼び掛けました。

中島部長は「研修会の内容を家族や知人と共有し、トラブル防止に努めていきたい」と話しました。

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



鹿島汁

「鹿島汁」は学校給食のメニューとして提供されたのが始まりで、鹿島町内で生産された野菜やわかめなどの食材を使用しており、今では地区の行事などでも振る舞われています。だしをとる代わりにちりめんじゃこを入れ、そのまま食べることでカルシウムを多く摂取することができます。また、鹿島町産大豆100%の「多久の味噌」を使うことで優しい味わいになっています。

【材 料】(4人分)

ジャガイモ……………100g	(調味料)
タマネギ……………80g	味噌……………大さじ2
ニンジン……………100g	水……………600cc
うす揚げ……………20g	
生わかめ……………40g	
ちりめんじゃこ……30g	
ネギ……………20g	
ダイコン……………100g	
ハクサイ……………100g	

【作り方】

- ①ジャガイモ・ニンジン・タマネギ、ハクサイは小さめの角切りにし、ダイコンはいちょう切り、ネギは小口切りにする。
- ②うす揚げはさっと湯をかけてせん切りにする。
- ③鍋に水、ちりめんじゃこ、ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、ハクサイ、ダイコンを入れて煮る。沸騰したら油あげとわかめを加える。
- ④具が煮えたら味噌を入れ調味し、ネギを加えて完成。



今月の料理人

鹿島支部 (左から)
 平塚 一恵 さん
 井上紀美枝 さん
 川下千寿子 さん
 川上 春江 さん
 高橋 洋子 さん



具材はタマネギ、ジャガイモ、ニンジン、ちりめんじゃこを使用するのが基本ですが、季節によってダイコン、ハクサイ、あごのミンチを入れるなど四季折々の食材を使ってもおいしく仕上がりますよ。

参加者募集!

サン●サン 料理教室

日時 2019年5月28日(火) 10:00~13:00
 ※定刻になり次第開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所 くにびき地区本部
 San・san館

松江市西川津町1635-2

いつもと目先をかえていつもより華やかな食卓で家族を驚かせてみませんか?
 イタリアンレストランのマスター古谷隆志氏に学びます。
 組合員、利用者、松江市民を対象に参加者を募集します。(男性大歓迎!)



5月のメニュー シェフに学ぶイタリア料理

- ★鶏もも肉と新ジャガのオープン焼き(ローズマリー風味)
- ★宍道湖のしじみのペペロンチーノ
- ★春野菜のサラダ(シチリア風レモンのドレッシング)
- ★イチゴとマスカルポーネチーズのティラミス風
(メニューは都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 25名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,800円(当日現金にて申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 2019年5月17日(金)

お申込み/お問合せ

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL: (0852) 55-3018 FAX: (0852) 32-6870

E-mail: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

宮農指導体制がリニューアル

宮農指導課



宮農指導係
安部 恭久

携帯 080-5239-2525
米穀、特産
(米穀リーダー)



園芸特産係係長
犬山 浩一

携帯 080-5239-2534
特産、米穀



宮農指導係係長
安達 朋秀

携帯 080-5239-2528
米穀、特産



課長補佐
門脇 功一

携帯 080-5239-2529
特産、米穀
(特産リーダー)



課長
岩田 政彦

電話 0852-55-3031
米穀、特産



宮農指導係
宮廻 義弘

携帯 080-6302-7999
米穀、特産



宮農指導係
川島 奨

携帯 090-9732-6105
米穀、特産(椎茸、いちじく、西条柿)



園芸特産係
門脇 栞

携帯 080-5239-2531
特産、米穀(アスパラガス、いちじく、ゆず、西条柿)



宮農指導係
吉川 純平

携帯 080-5239-2523
米穀、特産(トルコギキョウ、ストック、ヒマワリ、西条柿)



宮農指導係
石田 翼

携帯 080-6262-6495
米穀、特産(西条柿、メロン、なばな、津田かぶ)

担い手サポートセンター



担い手対策係
岩水 孝則

携帯 080-1927-9801
(広域)新規就農、集落宮農



担い手対策係
片寄 俊一

携帯 090-8992-1354
(橋北)TAC(経営相談、農業融資相談等)



担い手対策係係長
渡部 直樹

携帯 090-4894-3961
(橋南)TAC(経営相談、農業融資相談等)



宮農指導係
桑垣 朗

携帯 080-5239-2520
米穀、特産



宮農指導係
上田 隆夫

携帯 080-5239-2521
米穀、特産

暮らしに役立つ家庭雑誌
家の光 好評販売中!!
「食と農」「家族」「暮らし」「協同」の4つのテーマを追求して92年。家族みんなの夢を応援します!

年6回別冊付録付き
さまざまな分野の旬のテーマをわかりやすく掘り下げます。

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌
地上
定価(税込)
●普通月号606円
●付録付号(4・11月号)668円

JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌
ちゃぐりん
定価(税込)
●普通月号483円
●付録付号(1・4・8月号)565円
(公社)日本PTA全国協議会推薦



定価(税込)
●普通月号 617円
●家計簿付き12月号 1,008円
●付録付号(1・4・5・7・9月号)906円

誌代1年分を前納すると普通月号1か月分が無償となります。

◎年間予約購読(前納)誌代(税込)
※原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。

誌名	年間定価合計	無償分	前納誌代
家の光	9,240円	617円	8,623円
地上	7,396円	606円	6,790円
ちゃぐりん	6,042円	483円	5,559円

年間予約受付中

今月の特選車

スバル サンバートラック

(年式)平成21年式
(走行)67,500km
(車体色)シルバー
5MT 4WD
(車検)受渡し
(車両本体価格)
480,000円(税込)
(諸費用別途)



※すでに売却済みの方はご容赦下さい。

お問い合わせ先

自動車センター TEL:55-3077

「第43回「こはん・お米とわたし」図画部門で内閣総理大臣賞を受賞された乃木小学校の石松くんの作品は苗の色使い、田の水に写った田植機の影、軽トラの荷台から苗を運ぶ人の姿など見事に描いてあり、感心感動しました」
(A・Kさん)

「座談会のQ&Aが参考になりました。過去に何回か出席しましたが、最近は出席できないので、来年は是非参加したいと思います」
(I・Sさん)

「そろそろ冬野菜が終わり、春野菜の時節となりますね。家庭菜園の記事、楽しみにしています」
(N・Jさん)

「島根のいいものの再発見のコーナーで私の出身地でも葉わさびができるのだと感心しました。知人の笑顔の写真を見て、元気で仕事に取り組んでいるのだと思ひ、応援したくなりました」
(K・Nさん)

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。いただいたおハガキの一部をご紹介しますいただきます。



お便りコーナー

大型連休期間中の営業日等について

	問い合わせ先	4 月				5 月						備 考	
		27日 (土)	28日 (日)	29日 (月)	30日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)		
金融共済部	金融窓口	各支店	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	問い合わせについては4月26日までにお願いします。 5月7日より営業します。
	ATM	各支店	◆詳細につきましては、支店窓口またはATMブース内のチラシでご確認ください。 ◆カードの盗難・紛失の際は下記までお問い合わせください。 ・キャッシュカード：フリーダイヤル 0120-57-2045 ・一体型カード(クレジット機能付き)：フリーダイヤル 0120-15-9674										問い合わせについては4月26日までにお願いします。 5月7日より通常通り稼働します。
	自動車事故対応	フリーダイヤル 0120-258-931	JA共済事故受付センターにて対応します。										
生活福祉部	福祉課	62-8042	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	5月7日より営業します。
	介護相談センター	62-8043	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	5月7日より営業します。
	「サン・エールたまゆ」 デイサービス	62-0466	○	休	○	○	○	○	○	○	休	○	通常通り営業します。
	「サン・エールたまゆ」 ショートステイ	62-9333	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	年中無休
	ヘルパーステーション	62-8010	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	年中無休
	生活燃料センター	36-9270	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	期間中は転送電話にて対応します。
	自動車センター	55-3077	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	5月7日より営業します。
	不動産	32-3111	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	期間中は転送電話にて対応します。
	葬祭センター	36-4570	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	年中無休
営農経済部	営農企画課 米穀畜産課 営農指導課 産直資材課	55-3030	休	休	○	○	○	○	○	○	休	休	4月29日～5月3日は電話にて対応します。
	農機センター	55-3066	※大型連休期間中の資材の当用配送は出来ませんのでご注意ください。										繁忙期対応のため営業します。
	JAグリーン・ グリーンショップ	各店舗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通常通り営業します。

5月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
9	木	税務相談会	川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00~12:00
10	金	税務相談会	古江支店 (TEL: 36-8157) 10:00~12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店・店

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※5月の土曜営業日は11日、25日です。

◆お問い合わせは

☎ 0120-988-380

5月 ふれあい訪問日

5月15日(水)・16日(木)

◎支店長、課長
 ○支店次長、店長、センター長、所長
 ■課長補佐、支店長補佐 □係長 #臨時 △派遣
 †5月1日新入職員配属予定

本部長 栗原 令

地区副本部長 田中 鈴夫

生活福祉部

部長 古藤 昌希

営農経済部

部長 中村 隆
 次長 高木 康文

生活総合課 553040
 ◎荒木 潤一

生活燃料センター 369270 ☎0120・419・496
 ○石倉 英人 | 生活燃料係
 #神庭 昭一、#角 紀子、#石倉 堅、#石倉 和浩、#白石真理子

資産相談センター 323111
 ○生活総合課 | 資産相談係
 課長兼務 柳浦 純子、福島 一樹

福祉課 628042
 ◎三原由美子
 福祉係 小村 裕子
 #上山根睦美

ヘルパーステーション 628010
 ○石倉 美鈴
 福祉係 吉浦 里美、#三代 美音 | 登録
 #馬庭八重子、#荒木喜代美、#河原 令子、#柳原奈美子、#川本富美子、#舟木 仁美、#荒木 千浪、#日附三恵、#窪田 春子、#小林 広子、#畠中 寛子、#辻 早月

サン・エールたまゆ 629333
 ○森田みどり
 福祉係 福庭 幸子、井上 進、近藤 好幸、土江 文子、岡崎 一、田中 達也、杉原八重香、植田 ルミ、黒崎 唯、澤田 佳男、藤原 佳子、陶山 加奈、江角 綾子、#勝部 静枝、#長谷川美幸

通所介護 620466
 ○井上 理恵
 福祉係 #大櫃 玲子、#城市 貴子、#田中由加利、#和田佐知子、#山崎 栄子、#竹下 繁雄、#横原 信子、#余村 純一、#森田 道子、#横原 和雄、#瀬田美保子

介護相談センター 628043
 ○菅田 聡美
 福祉係 石倉 亜衣、渡邊 由子、#三好真由美

農機センター(19ページ参照) 553066

八束特産事業所 762526 ☎0120・053・435 (牡丹)
 ○営農指導課 | 特産指導係
 課長兼務 #平塚 敬樹、#曾田 稲子、#門脇 里子、#門脇 保、#吉田 達志、#福頼 雅子、#青木 保憲、#石倉 哲也

中海干拓事業所 526610
 ○小室 陽二 | 営農指導係
 #青木 保憲、#石倉 哲也

グリーンショップ(21ページ参照) 628043
 福祉係 石倉 亜衣、渡邊 由子、#三好真由美

営農指導課 553033
 ◎岩田 政彦
 営農指導係 門脇 功一、#安達 朋秀、#安部 恭久、#川島 真紀、#上田 隆夫、#園芸特産係 吉川 純平、#桑垣 朗、#宮廻 義弘、#山崎 真紀、#石倉 翼、#天山 浩二、#門脇 菜、#青木 律子

JAグリーン(21ページ参照) 553033
 産直係 杉谷 高明、#朝妻日出子、#佐々木 治、#鳥木 丈治、#須山 慶一、#山本 美紀、#永瀬 敦、#波多 伸行

産直資材課 553034
 ◎松尾 勝
 産直資材係 #杉谷 高明、#朝妻日出子、#佐々木 治、#鳥木 丈治、#須山 慶一、#山本 美紀、#永瀬 敦、#波多 伸行

営農指導係 553031
 ◎園芸特産係 553033
 ◎岩田 政彦

米穀畜産課 553038
 ◎山根 敏行
 米穀畜産係 #須山 哲成、#佐川 真二、#錦織 貴裕、#梅 晶博、#吉岡 悟、#長廻さおり、#経種 則子、#藤原 薫、#高井 恵人

担い手サポートセンター 553030
 ◎営農経済部 | 営農企画係
 次長兼務 井上 和之、#恩田 直幸、岩田 敏、#池田智恵美、#渡部 直樹、片寄 俊一、岩水 孝則

産直資材係 553036
 ◎松尾 勝
 産直資材係 #杉谷 高明、#朝妻日出子、#佐々木 治、#鳥木 丈治、#須山 慶一、#山本 美紀、#永瀬 敦、#波多 伸行

産直資材係 553034
 ◎松尾 勝
 産直資材係 #杉谷 高明、#朝妻日出子、#佐々木 治、#鳥木 丈治、#須山 慶一、#山本 美紀、#永瀬 敦、#波多 伸行

物流センター 553036 ☎0120・070・233

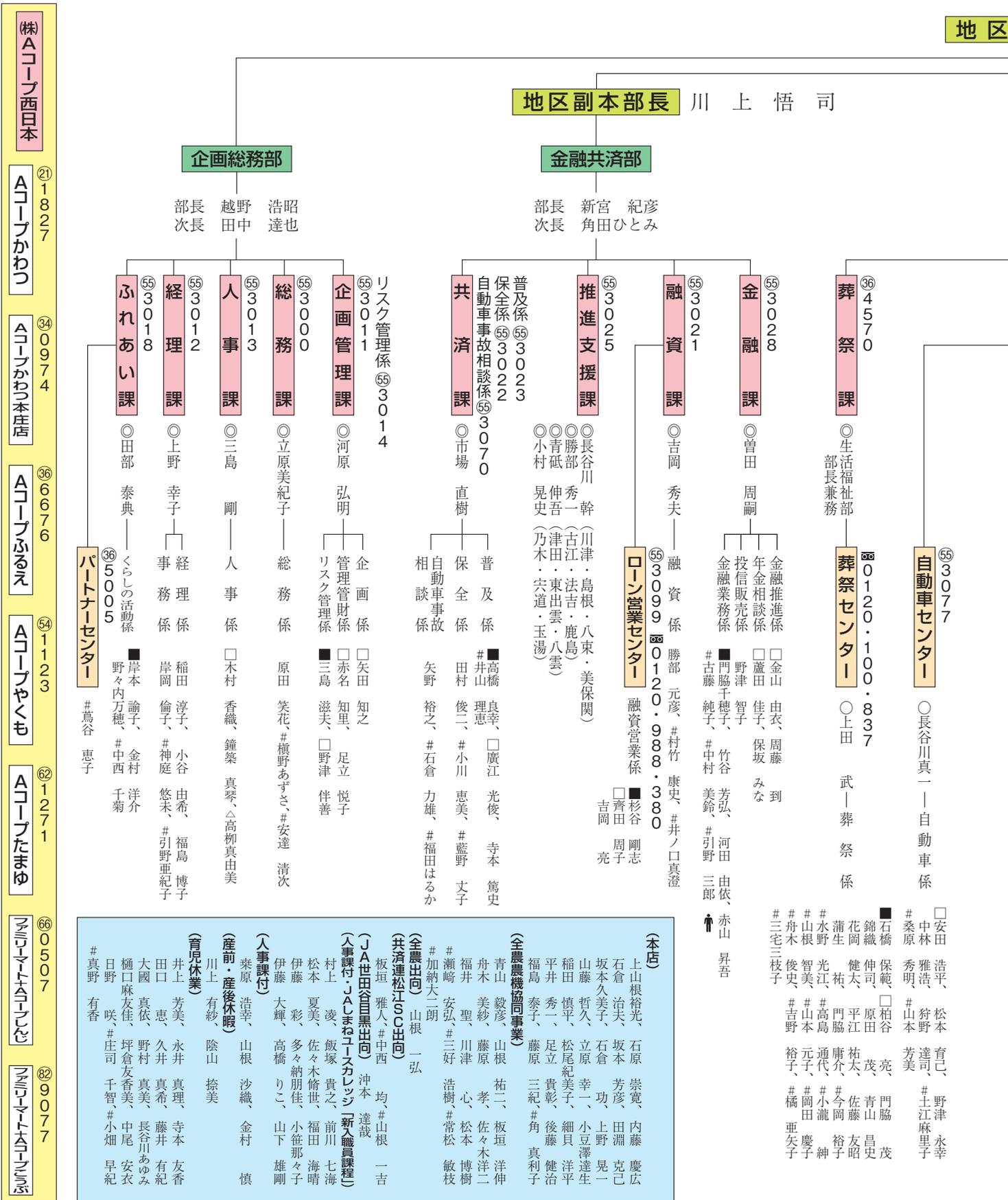
有JAしまなくにびき協同サービス 289245

(営農企画課付)
 (松江市農政課出向)
 ■石倉 精治

くにびき地区本部役員配置図

地区

平成31年4月1日付の役員配置図は次の通りです。



くにびき地区本部情報

津田支店

②41818

支店長 今岡 修
支店次長 永井 宏和

- 大庭店 ②13077
ふれあい業務係
#角 清利
- 竹矢店 ③70419
ふれあい業務係
#杉村 忠司
- 業務係
#黒崎美佐子、井上 直紀、青木 絢子、松本 郁奈
#足立 久子、#木瀬勢津子、#藤井かおり、#浅田友佳子
△永瀬奈津子、△満田さつき、△原 元子
- 共済普及係
#安部 美佐、小畑 直也、根本 歩美、横野 亘
- 信用渉外係
#松尾 温子、#荒川 智子

法吉支店

②13690

支店長 高木 正樹
支店次長 和田 妙子

- 生馬店 ③68456
ふれあい業務係
#井原 裕雄
- 業務係
#伊藤 修英、小村 典子、安達 美香、三代 健太
#井原絵梨子、山田 千尋、#佐藤 隆、#野島 浩子
- 共済普及係
#笹山 彩子、梅 圭佑、青木 倫子
- 信用渉外係
#隠岐 史也

古江支店

③68157

支店長 野津 隆
支店次長 井原 厚子

- 大野店 ⑧82053
ふれあい業務係
#曳野 良江
- 秋鹿店 ⑧82006
ふれあい業務係
#郷原 弥生
- 業務係
#角 瑛、山本絵美子、足立 彩、谷本 真琴
#森脇 小晴、稲田 慎平、#多久和桂子、#上田 澄恵
#村松 真美
- 共済普及係
#田中 洋子、岩成 周平、奥原 裕之、加藤 泉樹
- 信用渉外係
#梶野 綾子、田邊 真輝

川津支店

②32424

支店長 坂本充知男
支店次長 奥村 良紀
支店次長 井上 裕文

- 本庄店 ③40513
ふれあい業務係
#上野恵美子
- 朝酌店 ③90135
ふれあい業務係
#是津千恵子
- 業務係
#今岡 照和、木村 里香、山田 健一、吉野 沙希
#山内 唯子、赤山 有希、#藤井 宏行、#古藤 由美
#野津 貴子、#小林 順子、#川島 千佳、#柴山 千春
#岩田真規子、#小林真理子、△高野真由美
- 共済普及係
#吉山 由美、石原 隆弘、森岡 梓、永島 健次
#佐伯 崇人、安部 敬祐
- 信用渉外係
#長廻貴代美、菊地 雅也

宍道支店

⑥60416

支店長 加藤 育世
支店次長 藤原 武

- 来待店 ⑥60152
ふれあい業務係
#仲田 昌司
- 業務係
#石倉浩一郎、竹内 美絵、荒川 直寛、奥原 寿治、#坂本 金子
#高木 典子、#仲田 由紀、#持田 恵子
- 共済普及係
#三島 利香、野津 武司、真野 大洋
- 信用渉外係
#園山 由香

八雲支店

⑤41122

支店長 井原 将人
支店次長 杉谷 雄一

- 熊野店 ⑤40567
ふれあい業務係
#福島由紀子
- 業務係
#小川 基治、角田 睦也、島津妃南子、寺本 雅史、#八壁千代美
#松森 正喜
- 共済普及係
#堀江 寿美、石原 敬之
- 信用渉外係
#山崎 文雄

東出雲支店

⑤22022

支店長 山田 弘樹
支店次長 田久和賢治

- 意東店 ⑤22168
ふれあい業務係
#川島 健一
- 出雲郷店 ⑤22511
ふれあい業務係
#石倉 民子
- 業務係
#野津 敬志、吉岡麻依子、清水 夏帆、松本 綾佳、#神門 清美
- 共済普及係
#門脇 誠、吉野 絵里、渡辺 美子、山口 諒
- 信用渉外係
#伊東 友里恵

美保関支店

⑦2511

支店長 野田 学
支店次長 曾田 恭子

- 千酌店 ⑦50503
ふれあい業務係
#井川 淳子
- 関店 ⑦30201
ふれあい業務係
#雲津 茂樹
- 業務係
#井原 桂司、原 麻美、三代 若菜、#仙田 和葉
- 共済普及係
#米村 優人、小豆澤 恒
- 信用渉外係
#梶谷 朋之

八束支店

⑦62525

支店長 池田 久夫
支店次長 菅井 健一

- 信用渉外係 □福島 洋介
- 共済普及係 吉岡 亘、來海 歩
- 業務係 多々納祐子、栗垣 美海、#門脇 名実、#安部 紀子

島根支店

⑧52007

支店長 川谷 勇策
支店次長 種平 貴行

- 信用渉外係 福井 健志
- 共済普及係 梅木 竜、西村 由理
- 業務係 #杉谷 勉、伊東 梨、朝倉 龍、#奥村 和子
- #竹田美穂子
- 野波店** ⑧52552
ふれあい業務係 #田中 千春
- 大声店** ⑧52095
ふれあい業務係 #中村久美子

鹿島支店

⑧21303

支店長 村上 裕二
支店次長 青山 幸仁

- 信用渉外係 □川谷 浩美
- 共済普及係 土江 修平、伊藤 茜、持田ひかり
- 業務係 □寺本 知広、吉川美由公、福島 梨紗、#飯濱 武彦
- #野津 治美、#松本 毅
- 佐太店** ⑧20142
ふれあい業務係 #足立いづみ
- 古浦店** ⑧20026
ふれあい業務係 #中村万理子

乃木支店

⑨13758

支店長 春木 透
支店次長 小豆澤千鶴

- 信用渉外係 藤原 真優
- 共済普及係 山本 亮介、寺本 篤史、坪倉 直紀
- 業務係 □松尾 康太、川上 知子、土江かおり、黒目 早貴
- 岩田 紋音、石橋 梨紗、#岡 千鶴子
- 忌部店** ⑨32011
ふれあい業務係 #森脇 正敏
- 中原店** ⑨2567
○植尾 彰 業務係 #野津 洋子、#足立 晶子

グリーンショップ

産直資材課

中海千拓事業所

⑤32260

- グリーンショップふるえ** ③67133
店舗係 加藤 潤、#吉岡 幸子、#小笠原智恵美
- グリーンショップやくも** ⑤41136
店舗係 #平井 朋子、#池田優美子、#古川 健策
- グリーンショップたまゆ** ⑥21314
店舗係 #橋本 亮子、#金田 文子、#内藤 広美
- グリーンショップしんじ** ⑥60173
店舗係 #戸谷 明生、#外谷三枝子、#小池 恵子
- グリーンショップ東出雲** ⑤32260
店舗係 #石倉八千江、#新宮 陽子、#奥田 好恵
- グリーンショップしんじ** ⑥60173
店舗係 #三島 陽子
- グリーンショップ** ⑥60173
店舗係 #渡部 洋、#若竹 宏美、#福岡 久恵
- グリーンショップ** ⑥60173
店舗係 森廣 恵子、#一瀬 勝、#小松 弘美

J A グリーン

産直資材課

②07288

- J A グリーン** ③25050
○大野 公祐 | 店舗係 吉野 純也、和田伊都子、梅 美幸
- J A グリーン** ③25050
○清水 雅樹 | 店舗係 #藤田 倫子、#藤井のり子、#安達 杏子
- J A グリーン** ③25050
○清水 雅樹 | 店舗係 #池田真由美、#佐野 妙子、#安部 里美
- J A グリーン** ③25050
○清水 雅樹 | 店舗係 #安達 真弓、#加藤 裕一、#田中 栄子
- J A グリーン** ③25050
○清水 雅樹 | 店舗係 #小柴 和子、#宮本 久恵、#勝田 明美
- J A グリーン** ③25050
○清水 雅樹 | 店舗係 #多田 良子、#寺本 美鈴
- くにびきサンサン市場駅前店** ②07288
店舗係 #西山 良、#中本恵理香
- くにびきサンサン市場駅前店** ②07288
店舗係 #堀 静子、#川合 洋子

玉湯支店

⑧21313

支店長 片寄 謙一
支店次長 稲田千寿子

- 信用渉外係 奥村明日香
- 共済普及係 金築 萌子、岩本 祐介
- 業務係 □形岡 裕子、前田 達雄、小豆澤磨佑、松林 龍己、#竹原 由美
- #高濱祐美子、#布村 華子

新鮮な味がたくさん取れる サヤエンドウ

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

板木技術士事務所 ● 板木利隆

栽培管理が楽で失敗も少ないサヤエンドウ。店頭では得られない新鮮さが魅力。家庭菜園にはぜひ取り入れた野菜です。

カロテン含有量が多く、分類は緑黄色野菜。ビタミンC、食物繊維も豊富。使い道はサラダや汁の実、煮物にと広く、飽きずに重宝します。

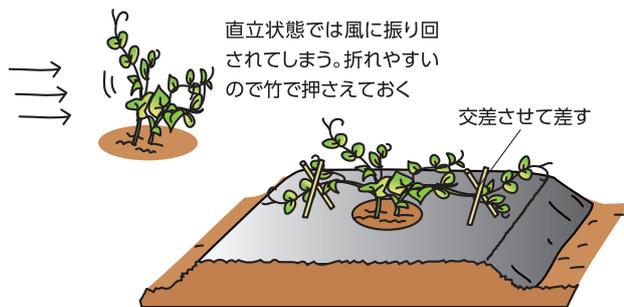
育て方のポイントを列挙すると次の通りです。

- (1) 連作畑を避ける
- (2) まきどきを誤らない
- (3) 冬に株が風で振り回されるのを防ぐ
- (4) 伸び出したつるがよく絡み付くようしっかりした支柱を立てる

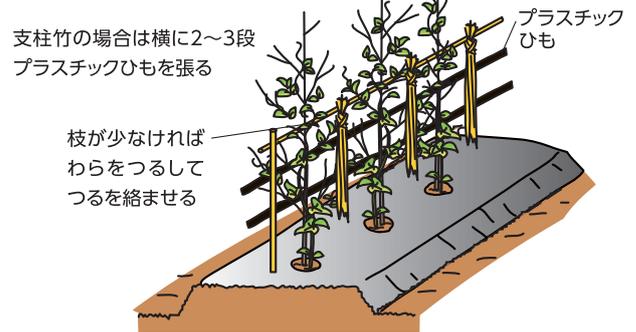
サヤエンドウは野菜の中でも特に連作を嫌う性質があります。4~5年はエンドウを作ったことのない畑を選びます。

種まきの適期は10月20日前後を目安とします。寒い地域で早まきすると、大きく育ってから厳しい寒さに遭うことになるため、寒害を受けやすくなります。種袋の説明と地域の慣行をよく調べて決めます。

サヤエンドウは茎葉が柔らかく、越冬中に株が風に振り回され、茎が折れたり枯死したりしやすいので、草丈が15~20cmに伸びたら短い支柱を交差させて立て、株を固定したり、畝に沿って稲わらを半折りにし下方を土に埋め、簡易の風よけを作ったり、べた掛け資材で覆ったりして寒風から守ってやります。



生育盛期の姿



越冬後草丈が20~25cmぐらいになる頃には巻きひげも出るので早めに支柱を立て、これに絡ませるよう、つるを誘引してやりましょう。

支柱材としては、細枝がたくさんつくササや、小枝がよく付いた木の枝が最適ですが、入手できない場合は木くいに横竹を渡し、所々に細わらをつるす方法、それらがなければ果菜用の支柱材を立て、横に3段ほどプラスチックひもを渡したり、キュウリの誘引ネット（網目15cm）を取り付けるなど、いろいろ工夫してみましょう。

肥料分は多くは必要ないので、前作に野菜を育てた畑なら、越冬前に畝に沿って軽く溝を作り、1株当たり化成肥料大さじ2杯ぐらい、本支柱を立てた後に、畝の反対側に同量を施し、土を盛り上げて畝を形作る程度で足りるでしょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

理事会情報 (2月27日開催)

【協議事項】

- ① J A しまね 農業振興支援事業要項・平成31年度要領の設定について
- ② 大口貸出金の承認について
- ③ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ④ 平成30年度 J A 全国監査機構決算監査期中改善指示書に対する回答について
- ⑤ リスク管理基本方針の一部改正について
- ⑥ 会計監査人候補者の決定および今後のスケジュールについて
- ⑦ 信用事業の事業譲渡・代理店方式について

- ⑧ 農林中央金庫への後配出資増資の引受けについて
- ⑨ 平成30年度3月末決算見込みについて
- ⑩ 平成31年3月本店機構改革に伴う職制規程の改正について
- ⑪ 平成31年4月1日付け機構改革の実施について
- ⑫ ワークフローシステム導入による稟議書の電子決裁化について
- ⑬ 平成31年度地域貢献・地域活性化支援事業について
- ⑭ 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- ⑮ 内部監査規程の一部改正について
- ⑯ 平成31年度内部監査計画について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

おさいふカードのポイント付与基準 変更のお知らせ



2019年4月1日より、下記のとおり付与基準が変更となりました。
今後とも、おさいふカードをご利用いただきますようお願い申し上げます。

追加事項

- 農青連にご加入された方 ……………新規加入で付与
- 国債をお取引された方 ……………残高に応じ付与
- 投資信託をお取引された方 ……………取得価額に応じ付与
- 農業者・女性部健診を受診された方 ……………受診で付与



部門	付与対象	付与の サイクル	付与の タイミング	付与単位	付与ポイント	
					組合員	組合員外
農青連加入	新規加入	年1回	2月末	1盟友	300	200
国債	2月末残高	年1回	3月末	10万円	5	2.5
投資信託	2月末保有分の取得価額					
農業者・女性部健診	受診	随時	翌々月末	1回	70	70

2019年3月31日で、ラピタ来店ポイントを終了させていただきます。長年のご利用誠にありがとうございました。
なお、お買物でのポイント付与やポイントを使用してお支払いについては、引き続き、ご利用いただけます。

「定期性貯金期日のご案内」 発送終了のお知らせ

平素はJALしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、このたび当JALでは、定期性貯金のお取引をいただいているお客さまに発送しております下記のご案内状につきまして、誠に勝手ながら、2019年10月31日作成分をもちまして、発送を終了させていただきます。

ご案内状でお知らせしている満期日などにつきましては、お手元の通帳、証書などでご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

今後もお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【発送を終了するご案内状 〈定期性貯金期日のご案内〉】

- 対象商品** 定期貯金、積立式定期貯金、譲渡性貯金
- 内容** 満期日、中間利払日などのご契約内容
- 作成時期** 原則として満期日、中間利払日の2か月前の月末



※発送を継続する先

- 法人・団体のお客さま
- 課税区分がマル優の口座をお持ちのお客さま

©ちよリス

手まりずし



簡単にできるのに豪華に見えます。お祝いなどに作ってみてください。寿司ネタはお好みでいろいろ楽しんでみてください。生ハム、ローストビーフなどでもOK、ラップでごはんを強く握るとごはんが固くなるので軽くまるめましょう。

●材料 (約30個分)

酢飯

- 炊きたてのご飯…… (2合分)
- 米酢…………… 大さじ4と1/2
- 砂糖…………… 大さじ3
- 塩…………… 小さじ1と1/2

具材

- マグロ、タイ、サーモン (刺し身用)…… 各3切れずつ
- エビ (生食用) …… 3匹
- イカ (刺し身用) …… 適量
- キュウリの薄切り…… 15枚
- 錦糸卵…………… 卵1/2個分
- 魚肉ソーセージ、大葉、イクラ、塩ゆでグリーンピース …… 各適量



●作り方

- ①酢飯を作る。小鍋に米酢、砂糖、塩を入れて火にかけ、沸騰直前で火を止める。ご飯に入れて混ぜ合わせる
- ②①を約20gずつラップにのせて軽く丸める
- ③別のラップを用意して、寿司ネタ、酢飯の順にのせてもう一度包みなおして形を整える。
- ④作った手まりずしを器に盛り、イクラやグリーンピース、残った錦糸卵で飾りつける

たけのこの中華スープ



たけのこのシャキシャキ食感がおいしい中華スープです。旬の相性のいいわかめを入れています。鶏肉のコクとうずらの卵の甘味が口の中で広がる、あっさり味のスープです。

●材料 (4人分)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| うずらの卵…………… 8個 | 塩…………… 少々 |
| 水煮したたけのこ…………… 1/4本 | しょうゆ…………… 小さじ1と1/2 |
| 塩わかめ…………… 15g | 酒…………… 大さじ1 |
| 鶏もも肉…………… 1/3枚 | こしょう…………… 少々 |
| 水…………… 600cc | ごま油…………… 小さじ1 |
| ガラスープ…………… 小さじ2 | |

●作り方

- ①たけのこはうすいくし形に切る
- ②塩わかめは洗い塩を落とし一口大に切る
- ③鶏もも肉は1cm角に切る
- ④水にガラスープを入れ火にかける
- ⑤煮立ったらたけのこ、鶏肉を入れる
- ⑥鶏肉に火がとおったらうずらの卵、わかめを入れる
- ⑦しょうゆ、酒、塩、こしょうを入れる
- ⑧ごま油を入れる



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は玉造温泉街にある勾玉橋と桜です。玉湯川沿いには温泉街から下流にかけてたくさんの桜が植えられ、春のお花見シーズンには大勢の見物客でにぎわいます。周辺には足湯やカフェなど人気のスポットも多く、桜鑑賞とあわせて散策が楽しめます。

編集後記

今月号から新しい企画の掲載が始まります。鳥根の青年農業者の様々な取り組みを紹介する「一所懸命 青年連盟」。旬の農産物や地域の特産品に出会える、鳥根県内の産直店舗を紹介する「産直へようこそ!」。年度も変わり、リニューアルした「JALしまねびより」をどうぞご覧ください。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

